

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス おひさまルーム		
○保護者評価実施期間	令和8年1月26日		～ 令和8年2月3日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52人	(回答者数) 32人
○従業者評価実施期間	令和8年1月26日		～ 令和8年2月3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18人	(回答者数) 18人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月18日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1人ひとり、その子の発達に寄り添った個別学習支援を大切にしています。	子どもに応じて使用する部屋を考えたり、楽しくわかりやすい教具・教材を作って、具体的にわかりやすい指導をしています。その日の様子を他の指導員と共有できるように話し合っています。	良い学習教材の情報を日々集めて共有をしていきます。基本は個別学習ですが複数人での学習の機会を作るなど、子どもの状況や課題に応じて柔軟に対応していきます。
2	保護者との関わりを重視し、直接的にお迎え時にその日の内容や様子をしっかりと伝えられる環境を整えています。	指導員が送迎時に保護者からの悩みなどを直接話を聞いたり過ごし方の様子などを伝えたりしている。また、ミーティング時に担当指導員以外の意見も話しやすい場になるよう工夫し、より良い支援につながるよう務めています。	保護者のおしゃべり会や開放日などで保護者との関わり場の作りました。今後はさらに充実を図ります。指導員研修の機会も増やしており、知識を増やしていきます。
3	法人が放課後等デイサービスだけでなく様々な事業を行っています。児童発達支援施設や、併設している高齢者施設などと関わることで社会経験を積むこと、異年齢との関わりを持つ事ができます。	お月見泥棒やハロウィンなど季節の行事を中心に関わりを持つようにしています。	年間計画を立てるとともに、機会を見つけてより良い関わりが持てるようにしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	就労に関する取り組みが少ない。	事業所を卒業した後にすぐに就労となる子どもの利用が少なかったため、情報が少ないのではないかと考えています。	実際の就労施設や制度についての勉強会を行いました。さらに子どもに合わせた就労についての情報の収集に努め、進路に応じた取り組みの検討を進めます。
2	イベント情報の周知が十分でない。	情報の発信はプリントや掲示が中心となっています。周知に時間がかかるなどタイムリーな情報発信となっていない場合が考えられます。	SNSでの即時発信や口頭での案内など複数の情報媒体で周知に努めたいと考えます。
3	送迎時駐車場で混雑が課題となっています。	同じ時間帯のお迎えが重なる場合に、始めに迎えに来ていただいた保護者からロータリーで順次帰っていただけるようお願いしています。駐車場が近くにないのが課題です。	ゆっくりお話を希望される場合は少し離れた法人駐車場を案内することに努めます。